



たてやま

議会だより

町のボランティアグループ紹介



シーツ交換ボランティア「陽だまりグループ」

「陽だまりグループ」は、陽風の里でシーツ交換のボランティアをしています。4つの班に分かれていて、毎週火曜日に担当の班が活動します。

平成24年
6月定例会

議員提出議案	2P
委員会の審議	3P
一般質問	4P
請願・陳情	10P

No. 44

2012.8.1

発行/立山町議会
責任者/議長坂井立朗
編集/広報特別委員会

災害廃棄物の試験焼却実施に関する決議

賛成 8 反対 1
退席 1 欠席 1 で可決

災害廃棄物の試験焼却実施に関する決議の内容

昨年3月11日の東日本大震災では、大量の災害廃棄物が発生し、被災地ではいまだ処理が進まず、全国的な広域処理が求められている。

このような状況において、富山地区広域圏クリーンセンターが所在する立山町においても、岩手県山田町の被災状況、分別状況などの視察を行い、がれきの空間放射線量の値が立山町で測定したゴミより低い値であることを確認したところである。

また後日、町において行った災害廃棄物のサンプル測定においても放射性セシウム不検出の報告を受けている。

地元説明会や町政懇談会においては、放射性セシウムを不安視する声や風評被害を懸念する意見もあったが、被災地の早期復興に少しでも支援、協力を望む意見が多かった。

よって、被災地の一刻も早い復興を図るため、また住民の不安解消と安全性確保のため、次のステップである試験焼却の実施を町から富山地区広域圏事務組合へ要請するよう求めるものである。

平成24年度6月定例会は、6月6日から19日までの14日間にわたって開かれた。
平成24年度補正予算など予算関係3件、専決処分の承認を求めるもの9件、条例に関するもの4件など、合計19件の議案が可決された。また、請願陳情2件は採択され、1件は不採択。議員提出議案3件は可決となった。一般質問では、6名の議員が町政全般について質問を行った。

平成24年度一般会計補正予算

1億 9,614万円

平成24年度一般会計予算総額

100億 404万円

総務教育常任委員会

旧芦峯保育所・米道踊り保存会に宝くじ助成金の活用



▲バリアフリー化される旧芦峯保育所

総務課

Q 車輛売払い収入の内容は。

A 給食運搬車2台と消防ポンプ車・救急車の更新に伴う売払い収入である。

Q 防災行政無線の移設負担金の内容は。

A 旧利田保育所跡地の売払いに伴う移設費用で、町が実施し、費用は購入者が負担する。

企画政策課

Q 旧芦峯保育所の改修工事の内容は。

A 宝くじの助成金を活用して、バリアフリー化工事を行う。

税務課

Q 個人住民税の増額は、滞納整理の結果と思うが、具体的な取り組み内容は。

A 督促状や催告書・訪問徴収を推進した結果である。

教育委員会

Q 米道踊り保存会へのコミュニティ助成金は何に使うのか。

A 宝くじの助成金を活用して、衣装や道具等を購入する。

産業厚生常任委員会

元気交流ステーション 新しく展示パネル購入



とし、49世帯に対し65回の除雪支援を行った。

Q 元気交流ステーションの展示パネル購入について、予算が大きいのが、製品や数量、購入目的は何か。

A 保健センターにある製品と同じもので、20枚購入する。障害者の作品展示をするのが主な目的である。

住民課

Q 国民健康保険事業特別会計で、療養費が一昨年に比べて減った理由は何か。

A 昨年の予算は前年度から計上されており、予算までの伸びはなかった。療養費が減ったわけではない。

農林課

Q 緑のカーテン事業は昨年度からの事業である。資材はそのまま活用できるので予算は減るのではないか。

A プランターなどの資材はあらかじめ用意しているものを使用している。したがって、種や土を購入する費用だけである。

Q 稲わら緊急確保対策の内容について問う。

A 従来、東北地方から33%、中国から30%の稲わらが県内に入っていた。今年度は、単独事業を活用して県産稲わら確保するため、必要な機械を導入する。

高嶋清光議員 一般質問



地域振興

越中瀬戸焼の振興と 移住定住事業の推進を

文化施設を積極的に活用 定住事業は範囲を拡大

議員 町では瀬戸焼などの伝統文化が認識されていないと思う。

小・中学校の授業に陶芸体験など伝統文化推進が必要ではないか。

教育長 今後とも、陶農館をはじめとした町

内の文化施設を積極的に活用したい。

議員 甚兵衛釜や、かなくれ山、何百年の遺跡が風化しているが、保存・活用は。

教育長 専門家のご意見を仰ぎ検討したい。

議員 移住・定住事業の推進のための新築やリフォームの助成金は、23年度は50万円までだったが、今年30万円になったのは。

町長 利用実績に合わせたことと、今年度より対象範囲を広げた。

積極的な活用が望まれる陶農館



教育

小学校の適正配置は 将来を見据えて、 枠組みの変更を検討

議員 教育長は、町の小学校は3校から4校と答弁されたが、適正配置検討審議会の意見書をどのようにみているか。また、改築には反対はしないが、答弁と行動が違っているのでは。

教育長 学校懇話会の提言は、平成30年ごろまで小学校を南部・東部・西部・中部の4校とする整備計画。

年を経過し、日中上野小学校も複式になることから、この枠組みを変更することが必要。立山北部小学校については学校統合の受け皿となる。

歩道

中部スーパー農道の 歩道新設を 来年度より本格工事



坂井沢～竜ヶ浜付近のスーパー農道

議員 坂井沢・石坂までの歩道計画については私も力を入れていてこの一つ。今後の事業計画は。

建設課長 平成22年度から事業に着手し、竜ヶ浜荘入口までの設計が終っている。用地取得・物件移転を進め、来年度より本格工事に取り組みたい。

その他の質問

- ・地域おこし協力隊の今後の活動は
- ・現隊員の契約延期は
- ・米道交差点付近に、越中瀬戸焼・陶農館の看板を
- ・歴史などの地元資源を里山観光の発展に
- ・里山地域の施設を点から線へ（仮称）立山里の街道」として整備を
- ・里山観光発展のために、着地型に
- ・定住促進のために、歓迎メッセージを
- ・震災がれきについて
- ・町政懇談会の運営
- ・風評被害は
- ・影響があった場合の補償は
- ・「大方の住民の納得」とは100人中の何人か
- ・試験焼却実施を撤回した報道について
- ・試験の期間と量は
- ・最終処分場の決定まで延期を
- ・水道水などのセシウム濃度の測定を
- ・機器を国の予算で



伊東幸一議員 一般質問

震災がれき

災害廃棄物の広域処理 町政懇談会での印象は

安全性が確保されれば 受け入れてもよいのでは

議員 町政懇談会での災害廃棄物処理に係る町民の意見要望を、町長はどのように受けとめたか。

町長 11会場で開催。一部住民から放射性セシウムを不安視する声や風評被害を懸念する意見も述べられた。しかし、被災地の復興に向けて少しでも支援、協力をしたい、安全性



町政懇談会

が確保されるならば受け入れてもよいのではとの印象を受けた。住民の皆さんからのご意見は、真摯に受け止め、国や県と連携して取り組んでいきたい。

町づくり

元気交流ステーションの 利用者増に仕掛けを

(株)たてやまを中心に 好評だった行事を定期的に開催

議員 利用者増に向けた長期的な目標達成のために、断続的な仕掛けが必要ではないか。

企画政策課長 今後は、利用者の目線に立った施設のパンフレットの作成などを検討。

また、今回好評であった、ベビーマッサーなど子育て・健康づくりプログラムや、タブレットPC講習会等、定期的な開催に向けて検討する。

さらに、新しい図書館をはじめ、大会議室でのグルメコーナーやイベント広場での催しは予想を上回る反応があり、今後の利用者増に向け



タブレット PC 講習会

けた足掛かりを得ることができた。

指定管理者である(株)たてやまを中心に、長期的かつ戦略的な利用者増に向けた仕掛けを展開していく。

その他の質問



- ・震災がれきについて
- ・風評被害を生む原因は
- ・風評被害の防止は
- ・現地で頑張る町派遣の職員の姿などの情報を
- ・(株)たてやまの増資計画の現状は
- ・中山間地活性化は
- ・鳥獣害対策は
- ・景観を維持する里山の整備は
- ・用水や急傾斜の農道の維持管理は
- ・集落の後継者、担い手の確保は
- ・草刈作業の負担軽減対策は
- ・「立山」の観光振興について
- ・ラムサール条約は
- ・ポスター「ぜんぶ、立山町。」は
- ・富山市との消防相互応援協定は
- ・遠隔地の都市や企業等との応援協定を

石川孝一議員 一般質問



広域処理が予定されている木くず

震災がれき

放射能の内部被曝が心配

風評被害で

農産物が売れなくなるのでは

バグフィルター使用で、安全に焼却処理できる。風評被害は発生しない。

議員 がれきの焼却で放射能が大気中に放出され、内部被曝が心配。原発放射能は体の中に蓄積され微量であつても被曝の可能性がある。若い人ほど影響が大きい。

町長 バグフィルターは排ガス中の1ミクロン、千分の1mm以上の煤塵を除去できる。バグフィルター前で冷や

された塩化セシウムは10〜数十ミクロンなので、ほぼ除去でき、除去率は99・99%以上である。国で実証済みの施設と同様に安全に焼却処理出来ると考えている。

議員 風評被害で農産物が売れなくなると言う農家の人が多い。不安をなくすには受け入れられないのが一番だが、どうか。

町長 高岡市や新川広域圏も受入れを検討。全国では30以上の都道府県で広域処理の検討を始めている。立山町だけが突出して目立つ状況ではなく、風評被害は発生しない。

議員 震災がれきと立山町内の木くずの放射能濃度が不検出と公表された。富山県のND値が40ベクレル/kgと高く、検出されないのは意図的だ。静岡県では小数点以下まで公表している。

志賀原発

災害防止協定を真剣に 安全協定締結決議の取組は 地域防災計画の変更を検討 他市町村と歩調を合わせる

町長 調査は広域処理される災害廃棄物が、1kg当たり100ベクレルを超えていないかの確認が目的。セシウム濃度の検出下限値は国のマニュアルに沿って行ったものである。

議員 もし志賀原発で事故が起これば、立山連峰とその山麓地域が最も影響が大きいとい

われている。もっと深刻に検討すべきでは。

町長 志賀原発で万が一の際には、その東側にある富山県が影響を受ける。県では地域防災計画見直し作業が行われており、原子力災害も気象条件等を検証した対策が行われると思う。これを踏まえ、町の地域防災計画の変更を検討する。

議員 12月議会で、北陸電力との安全協定締結を町長に要請する決議が採択された。どう取り組まれたか。

その他の質問

- ・小水力発電の検討を元気交流ステーションについて
- ・(株)たてやまの営業戦略と経営見通し
- ・施設内に、立山町を象徴する展示を
- ・役場庁舎の耐用年数は
- ・町指定文化財の維持保全について
- ・芦峯寺風土記の丘にある「旧有馬家」の維持補修計画は
- ・立山マリモの現状と保護、活用計画
- ・空き家対策の現状と予定は

町長 県は氷見市と、北陸電力に原子力安全協定締結を申し入れた。県の安全協定で十分なのか、市町村ごとの協定が必要なのか等を検討し、他市町村と歩調を合わせて取り組みたい。



町田信子議員 一般質問

防災

安心カードは全世帯に配布を

自主防災組織などから 意見を聞いて作成を検討

議員 母親の在宅介護をしている町民からの声があきつかけで、自分が外出して事故にあったり、被災した場合に備えて、健康状態や連絡先を記しておく「いのちをつなぐカード」を創設した。また、不測の事態に備えて、子どもや介護されている人に携帯を求め、提案もなされている。

め、本人情報や関係者への連絡先、病気の既往歴などをあらかじめ記入しておく携帯用カードと認識している。その有用性について検討し、自治会や自主防災組織などからも意見を聞いた上で、作成を検討したい。

町長 急病や災害時などの緊急時に的確に対応するため

防災ハンドブックや、災害時安心カードは対策として必要と考えるが全世帯に配布すべきではないか。

災害時安心カード(イメージ)

氏名	男 女	生年月日	明・大・朝・平 年 月 日	血液型	十一型
住所	TEL - -				
持病	避難場所				

※このカードは、身分証明書としての効力はありません。
※個人情報に記載しますので、紛失等にご注意ください。

ワクチン

住民の負担をなくすために 町の取り組みは

他市町村の動向を見て

議員 現在、ワクチンの定期接種は無料である。来年以降は国の補助がなくなるが、住民の負担をなくすために町としてどのように取り組むのか。

健康福祉課長 ワクチンの定期接種については、これまで、公的接種となっていない8ワクチンを対象に、厚生労働省において審議されている。その中で「子宮頸がん」「小児用肺炎球菌」「インフルエンザB型(ヒブ)」の

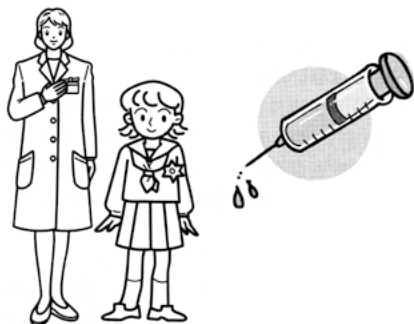
3ワクチンを最優先で定期接種にすべきとの提言がなされた。

町の接種費用は1回分の接種額は「子宮頸がん」が15,300円、「小児用肺炎球菌」が10,100円、「インフルエンザB型(ヒブ)」は8,000円と高額でいづれも3回から4回の接種が必要となる。

平成22年度から24年度末までの3ケ年は国から約半分の助成があったが、定期化により国からの補助がなくなれば、町の負担は多額なものとなる。まずは他市町村の動向をみただ上で検討したい。

その他の質問

- 立山町地震ハザードマップ(保存版)の見直しを早急に
- 防災拠点となる学校施設の防災機能の強化を
- 学校・家庭・地域社会が連携した避難訓練の実施と防災教育の充実を
- 通学路の安全対策の推進を
- 児童、生徒の暑さ対策は
- 学校からいじめをなくす為の方策は



亀山 彰議員 一般質問



福祉

障害福祉サービスの向上を
タクシー利用券を選択制に

不公平感の無い運用方法を

議員 視覚障害者の同行援護サービスの利用時間の上限は再考すべきではないか。

健康福祉課長 同行援護サービスの利用内容は、利用者のニーズに応じて利用時間（支給量）を決定しており、上限を決めているわけではない。新聞紙上で間違つて報じられたので抗議した。

議員 障害者手帳保有者の常願寺ハイツ利用料金を無料化し、リハビリに取り組みやすい環境整備をすべきではないか。

健康福祉課長 常願寺ハイツは、障害者手帳

保有者誰もが利用できる施設ではない。無料化は、広域圏事務組合など関係者の理解を得る必要がある。

議員 福祉タクシー利用券はガソリン給油券との選択制にすべきではないか。

健康福祉課長 県内では、約半数の市町が実施している。（障害者本人が乗車しない自家用車に利用されるなど）不公平感の無い運用方法を検討し、導入に取り組む。



元気交流ステーションに移動した健康福祉課

イベント

立山アルペンヒルクライム2012 運営スタッフも伴走できるように

今回は通行許可がされないのが困難



6月26日に行われた
アルペンヒルクライム2012

議員 立山アルペンヒルクライムを一般の人が参加できるイベントとして実現させる準備が、進められている。6月に行われる高地トレーニング企画アルペンヒルクライムに、運営スタッフ予定者も試

走できるとよいのではないか。
商工観光課長 6月のアルペンヒルクライム2012は、開催に向けた実証実験という位置付けなので、通行許可されない。今回は困難である。



その他の質問

- がれきの受入れについて町長の方針は
- 元気交流ステーションの町民の反響と課長としての感想は
- 保育所のグラウンド整備を



後藤智文議員 一般質問

震災がれき

町独自の安全な基準と全市民の合意を得る努力を

国より厳しい基準で丁寧に説明していく



がれきの分別作業(岩手県山田町)

議員 震災がれき受け入れについて、現地へ二度足を運び、現状の悲惨さと住民の悲痛な声を聞いた。遠く離れた私たちに何ができるのか。今できるのは一日も早くがれきを撤去し、ふるさとをきれいにすることが大事だと思った。

町長 富山県知事は、岩手県知事と覚書を書き、国基準の240ベクレル/kg以下よりもさらに厳しい100ベクレル/kg以下としている。町民の安全は確保していく。町政懇談会で説明し、さらに要請があれば説明していく。大会場での説明は丁寧に答えることが無理なので、地区単位、団体に主眼を置いている。

学習環境

いよいよ暑い夏 小学校にエアコンの設置を

より良い学習環境のために 平成25年度以降設置を検討

議員 いよいよ暑い夏がやってくる。小学校の普通教室のエアコン設置については、昨年6月議会での質問に教育長は「改築中の中央小学校の普通教室には空調設備を設置できるように配線を整えた」と答弁。

一刻も早く子どもたちに快適な学習環境を整備すべきではないか。

教育長 現在、管理部門となる職員室、保健室は、昨年、すべての小中学校に整備を終えた。中学校はすべての普通教室とランチルムに空調設備を設置した。各小学校の普通教室の空調設備については、より良い学習環境の中で授業を受けさせたいとの思いから、平成25年度以降に設置するように検討している。

一刻も早く子どもたちに快適な学習環境を整備すべきではないか。



エアコン設置が望まれる小学校

その他の質問

- TPPの町への影響と反対表明を
- 地産地消の拡大で、もつと学校給食に適用すべき
- イタイイタイ病資料館が建設され、副読本も作成された。子どもたちの教育に生かしていくべき
- 就学援助項目を国基準にすべき
- 就学援助は4月から支給開始をすべき
- 特定健康診査の検診率をもっと高めるべき
- 子ども医療費の病院窓口無料は富山市にも拡大を
- 保護者が正社員として働けるように、保育時間の見直しを
- 岩崎雄山神社のトイレの水洗化は、下水道工事と合わせて行うべき
- 宮路の踏切から雄山神社までの参道の改修と、側溝にふたをして道幅を拡げるべき

採択

全員賛成

直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する請願書

請願・陳情者

国土交通省管理職ユニオン

北陸支部執行委員長 土肥和広

他 二団体

〈採択理由〉立山カルデラの砂防事業は重要な工事であり、国の直轄事業として継続すべきである。また、地元建設業に対しても配慮が必要である。

北朝鮮による拉致被害者を早急に救出するよう求める意見書提出を求める陳情書

請願・陳情者

救う会富山

会長代行 濱谷隆平

〈採択理由〉なかなか進展しない拉致被害者の救出を、政府が全勢力を傾けて取り組むことが必要である。

不採択

全員反対

緊急事態基本法の早期制定を国に求める意見書の提出に関する陳情書

請願・陳情者

アジアと日本の平和と安全を守る

富山県フォーラム 会長 仲外喜雄

〈不採択理由〉大規模自然災害と外交上の有事を、緊急事態としていっしょの扱いにするには疑問がある。

平成23年度 議長交際費支出状況

項目	件数	支出金額	備考
志・会費	95件	496,267円	各種団体主催の総会等の志・参加費
慶弔費	15件	160,979円	式典などの祝金、香典等
激励・賛助金	7件	60,000円	公益性のある行事等の激励金・協力金
その他	14件	77,649円	タクシー代、消耗品、印刷費等
合計	131件	794,895円	

平成23年度 政務調査費収支報告

単位:円

政務調査費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として、報酬とは別に、議員1人当り年額6万円交付されています。

会派名	人数	交付額	内 訳		支出額	返還額
			調査旅費	資料購入費		
自民党議員会	10→9	570,000	465,070	100,000	565,070	5,000
公明党	1	60,000	28,320	32,965	61,285	0
日本共産党	1	60,000	0	60,300	60,300	0
社民クラブ	1	60,000	28,320	32,896	61,216	0

※交付額を超過した支出については、各会派で負担しています。

あ と が き

元氣交流ステーションが起動し始め、町の福祉の拠点や図書館と五百石駅が一緒に便利に使える施設になっています。町民のための施設なので、ぜひご利用ください。

また、多くの町民の関心となつているがれき処理について、町は町政懇談会を開きました。議会では、震災がれきの試験焼却を実施する提案がなされ、賛成多数で可決しました。

安全なものか否か確認をして、安心して生活できる豊かな自然、そして自慢できる町を次の世代に残していくことが今を生きる私たちの務めであり、困っている人の力になることは、人として当たり前の事だと思います。(亀山記)

議会広報特別委員会

- 委員長 伊東幸一
- 副委員長 亀山 彰
- 委員 佐藤康弘
- 委員 石川孝一
- 委員 後藤智文
- 委員 町田信子



町のイメージキャラクター 雷鳥サンダーくん

議会や議会だよりについてのみなさんのご意見・ご感想は
立山町議会内 議会だより係
TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会会議録]もご覧ください。